

## ツバキ

ツバキ科ツバキ属 (*Camellia*) の植物は、日本・中国を含む東アジアから東南アジアにかけて分布し、野生種は約 250 種が知られており、日本にはヤブツバキ、ユキツバキ、ユキバタツバキ、サザンカ、ヒメサザンカの 5 種が自生しています。

### 日本で園芸品種の多様化が進む

日本では室町時代からツバキ属の園芸化が本格化し、江戸時代に園芸品種の多様化が大きく進みました。現在、国内の園芸品種数はツバキで 2,200 以上、サザンカで約 300 といわれています。

日本に自生するヤブツバキには、雑種ができやすく、実生や挿し木で容易に殖える性質があり、園芸品種の多用化に大きく貢献しました。一方の中国では、200 種以上の野生種が自生し遺伝資源の豊かさを誇る反面、20 世紀中頃までに園芸化されていたのはトウツバキ 1 種のみであり、当時の園芸品種数は、数十程度にすぎませんでした。

### 日本のツバキが中国経由で欧州へ

ヨーロッパに最初に渡ったツバキは 1737 年にイギリスのロバート・ジェームス・ピーター卿 (1713-1742) が入手したものだといわれています。当時はイギリス東インド会社の船長が中国でツバキを入手し、その長距離輸送を試みていました。日本の文献には、1711 年にツバキの園芸品種多数が長崎から中国に渡ったという記録があり、中国の園芸書「茶花譜」(朴静子著、1719 年) にも「日本からの外来種が最も優れており計 43 種ある」と記されていることから、当時の中国では日本のツバキの園芸品種が入手可能であったことがわかります。19 世紀になるとプラントハンターによる輸送の試みがはじまりました。1830 年にはシーボルト (1796-1866) が日本から直接「正義」<sup>まさよし</sup>、「蝦夷錦」<sup>えぞにしき</sup>などの園芸品種を持ち帰り、1843～61 年にはフォーチュン (1812-1880) が中国・日本から多数の園芸品種をイギリスへ送りました。



上写真: カメリアハウスと呼ばれる温室で大切に育てられたツバキ (イギリス・ケント州) (The Gardeners' Chronicle. Jan 28, 1905 年) (Biodiversity Heritage Library)



上図: デンマークの画家 J.L. ジェンセン (1800-1856) による「赤と白のツバキ」(1843 年) (Wikimedia Public domain)



上写真: 1875 年にアメリカで販売がはじまり、今も高い人気を誇る「ピンク・パーフェクション (乙女椿)」



上写真: アメリカで 1949 年に育成されたツバキの園芸品種「R. L. Wheeler」(Wikimedia Public domain)

### 欧米でツバキが普及

花の少ない冬に美しい花を咲かせ、青々とした葉を落とさず、種子をまくだけで気軽に新しい品種がつかれる、といった性質が好まれ、欧米では 19 世紀中頃からツバキの愛好者が増加していきました。19 世紀末には日本から園芸品種を輸出する体制が整い、20 世紀に入るとアメリカにツバキの爆発的なブームが到来しました。

### 欧米での新たな育種の試み

欧米では、ツバキ栽培がはじまるとすぐに、新品種をつくる試みも行われるようになりました。1841～43 年にフランスで出版された図譜には、すでに 300 品種が収録されています。欧米での品種改良の傾向は、華やかな大輪八重の品種が好まれるほか、中国などで新たに発見された野生種と既存の園芸品種の交配によって、まったく新しい品種を生み出す試みも



上写真: 1824 年に中国からイギリスへもたらされたとされるツバキの園芸品種「Imbricata Rubra」(Wikimedia Public domain)



上図: 「Imbricata Rubra」の図。ロレンツォ・ベルレーズ (1784-1863) 「ツバキ図譜」より (Iconographie du genre Camellia, ou, Description et figures des Camellia les plus beaux et les plus rares. v.1, 1841-1843) (Biodiversity Heritage Library) ベルレーズは 19 世紀最大のツバキ学者と呼ばれ、300 種類のツバキを収録した 3 冊からなる図譜を出版しました。

にも熱心です。例えば、イギリスでは中国の野生種サルウィントンツバキ (*C. saluenensis*) と日本のツバキの園芸品種を交配させる試みがなされ、1940 年代に約 90 品種を作出しました。



上写真: 中国のサルウィントンツバキと日本のツバキの交配により生まれた園芸品種「Cornish Spring」(Wikimedia Public domain)



上写真: 1950 年代にフォーチュンが中国から持ち帰ったとされるツバキの園芸品種「Prince Frederick William」(Wikimedia Public domain)



上図: 「Prince Frederick William」の図「ヨーロッパの温室と庭園の植物」より (Flore des Serres et des Jardins des l'Europe. v.12, 1857 年) (Biodiversity Heritage Library)